

(様式1)

教育研究業績書

2024年5月1日

氏名 関根 みぎわ

研究分野	学位	
臨床看護学（急性期看護学、がん看護学）	修士（看護学）	
研究内容のキーワード		
急性期看護、周手術期看護、がん看護		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践		
1) 対象の健康レベルに即した援助方法の考え方、ケアの実践力修得に向けた取り組みとしての成人看護学支援論 I、II	2018年12月～現在	講義・演習授業の実施、看護過程におけるグループワーク指導の実施
2) 看護専門外来における看護支援の見学実習を取り入れた成人看護学実習 I	2018年～現在	看護専門外来の看護支援のあり方、継続看護について考察し、学生の患者支援に活かすための実習指導
3) オンラインでの遠隔実習における学習を促進する取り組み	2020年6月～7月	コロナ禍において、成人看護学実習 I が遠隔となり、実習での学びを促進するための取り組みとして、看護実践能力の修得に向け、事例を用いてオンラインにて遠隔実習での指導を担当 分担にて教材作成
4) 成人看護学実習 II	2018年～現在	ゴードンに基づいた対象理解と周手術期における看護展開および看護ケアの実践指導
5) 看護総合演習	2023年	授業内容の検討、事例作成、グループワーク、演習、発表指導
6) 基礎ゼミナール	2020年～現在	グループ討議、レジュメ作成指導（副担当）
7) 卒業研究	2020年～現在	卒業論文指導補助
5) 患者学	2024年～	疾患を持つ当事者や患者家族、支援団体等をゲストスピーカーとして招き、患者理解や自身の看護師像を見出すことを目的とした授業での指導
2. 作成した教科書、教材		
1) 成人看護学支援論 I、II	2020年～	授業内容の理解を促すための資料および課題作成、看護過程演習の資料作成
2) 成人看護学実習 I、II	2020年～	実習への導入を円滑にするためのオリエンテーション資料の作成、事前課題の作成
3) 総合実習（成人看護学領域）	2020年～	実習への導入を円滑にするためのオリエンテーション資料、事前課題の作成
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許等		

看護師免許証口	2006年4月4日	看護師免許（第1342350号）
2. 所属学会 日本看護科学学会 日本がん看護学会 聖路加看護学会 日本看護学教育学会	2020年4月～現在 2020年4月～現在 2021年4月～現在 2022年3月～現在	
3. 実務の経験を有する者についての特記事項 NPO・研究者・学生が協働して行う子育て拠点新活性化アクションリサーチ：COVID-19流行下で行う予備的検証 狭山市青少年育成事業「あそびのおもちゃ箱」の事業運営協力 狭山市柏原地区防災教室の支援・連携 狭山市奥富地区防災教室の支援・連携	2022年7月～2023年3月 2023年7月～ 2024年4月～ 2024年4月～	狭山市後援Well Café企画運営：市内子育て支援拠点における集いの場づくりのプロジェクトメンバーとして企画運営、子育て座談会でのファシリテーター 狭山市青少年育成事業において地域住民と協働し、運営・協力 狭山市柏原地区主催まちづくり事業の支援・連携し、看護学部学生とともに参加・協力 狭山市奥富地区主催まちづくり事業の支援・連携し、看護学部学生とともに参加・協力
4. その他		

(様式2)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 喉頭全摘出後の夫と共に暮らす妻の術前における構え preparedness (修士論文)	共著	2020年3月		喉頭全摘出術により失声する夫と共に暮らす妻の術前における構えpreparednessを記述することを目的とし、質的記述的方法を用いて分析した。その結果、構えとして9カテゴリ、65サブカテゴリが抽出された。夫婦のありようを振り返ることやこれから先を見据えることが、妻の術前における構えに大きくかかわっていることが明らかとなった。 共著者：関根みぎわ、粟生田友子
喉頭全摘出後の夫と共に暮らす妻の失声への構え	共著	2024年2月	日本がん看護学会誌 第38巻(2024)	(査読あり) 喉頭全摘出後の夫と共に暮らす妻の術前における失声への構えを質的記述的方法を用いて分析し、明らかにした。 共著者：関根みぎわ、粟生田友子
(学会発表、講演など) 喉頭全摘出後の夫と共に暮らす妻の術前における構え preparedness	—	2020年12月	第40回日本看護科学学会学術集会(WEB)	喉頭全摘出術により失声する夫と共に暮らす妻の術前における構えについて、インタビューから分析し明らかにした。第40回日本看護科学学会学術集会にて口演発表を行った。
喉頭全摘出後の妻と共に暮らす夫の術前における構え 一事例の語りから	—	2021年2月	第35回日本がん看護学会学術集会(WEB)	喉頭全摘出術により失声する妻を見守る夫の術前における構えについて、一事例の語りから分析し、構えを明らかにした。第35回日本がん看護学会学術集会にてポスター発表を行った。
コロナ禍におけるハイブリッド型成人看護学実習Ⅰの取り組み 急性骨髄性白血病模擬事例を活用した実習指導	共著	2022年8月	第32回日本看護学教育学会学術集会(WPR)	COVID-19の影響により、ハイブリッド型の成人看護学実習として急性骨髄性白血病模擬事例を活用し実習指導を行い、取り組みの成果と課題を報告した。第32回日本看護学教育学会学術集会にて口演発表を行った。 共著者：小野智恵美、大工原慈仁、関根みぎわ、藤本千尋、井原緑